

さかなの旅、ふたたび ～取り戻そう、山・里・湖のつながり～ 【プログラムと分科会の論点】



1

第1回マザーレイクフォーラム円卓会議(2012/3/25開催)

ふなずしは生き残れるか？

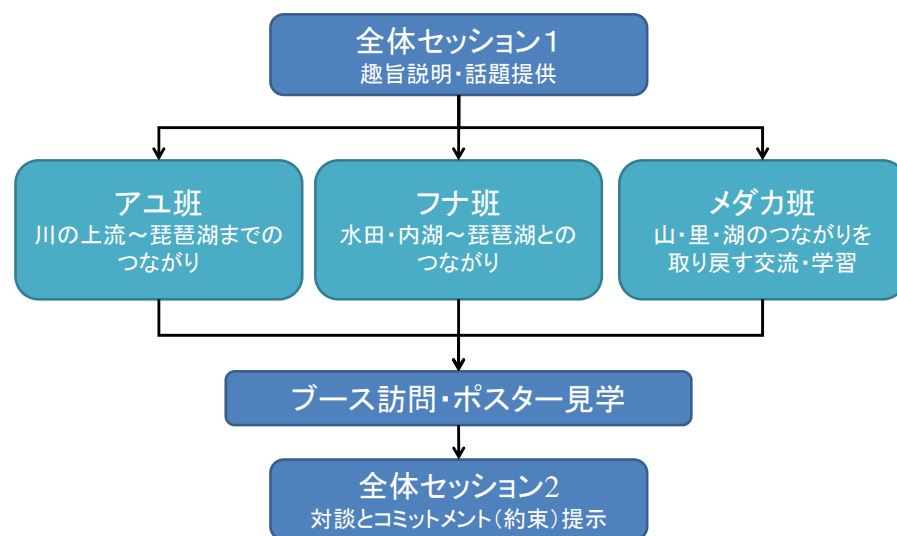
～考えよう！あなたの暮らしと琵琶湖の未来～

ふなずしが生き残るために必要な取り組みTOP5

- 1位 琵琶湖へ関心を持つ仕組みや場づくり
- 2位 **ヨシ帯・内湖・水田の物理的なつながりの復元**
- 3位 人びとがつながり、取組に参加する仕組みづくり
- 4位 (ニゴロブナの生態が見える)モデル地区づくり+見学
- 5位 自らつくるオリジナルふなずし

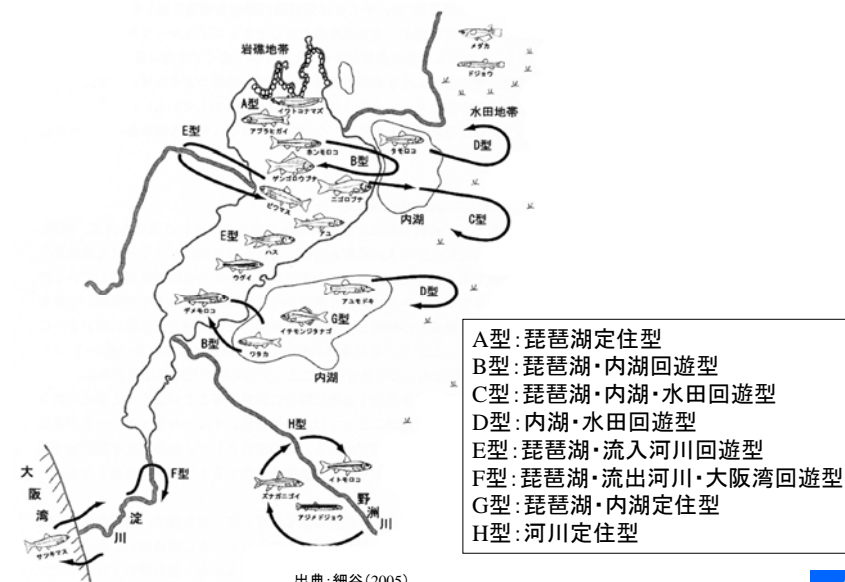
2

本日のプログラム



3

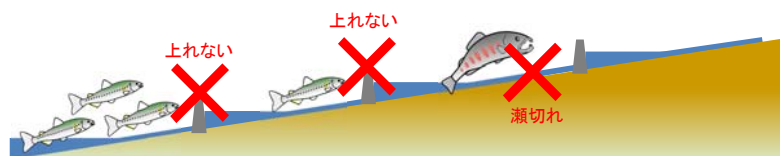
琵琶湖の淡水魚の回遊様式



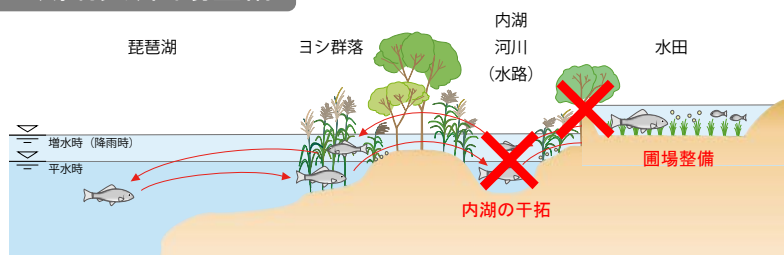
4

さかなの遡上を阻む様々な「分断」

ダムや堰・瀬切れ



内湖消失、圃場整備



5

分科会の班分け

川の上流～琵琶湖までのつながり

➡ **アユ班**へ

水田・内湖～琵琶湖とのつながり

➡ **フナ班**へ

山・里・湖のつながりを取り戻す交流・学習

➡ **メダカ班**へ

6

分科会共通のアウトプット

① つながりをなかなか取り戻せない
「課題」の本質を探ろう

② 課題の解決に向けた
「方向性」をまとめよう

7

アユ班



アユ班

川の上流～琵琶湖まで
のつながり

話し合う内容と
基礎情報

8

河川を横断してつくられる構造物

構造物の例



その他、水門、樋門、排水機場など

機能の例

治水: 洪水調節

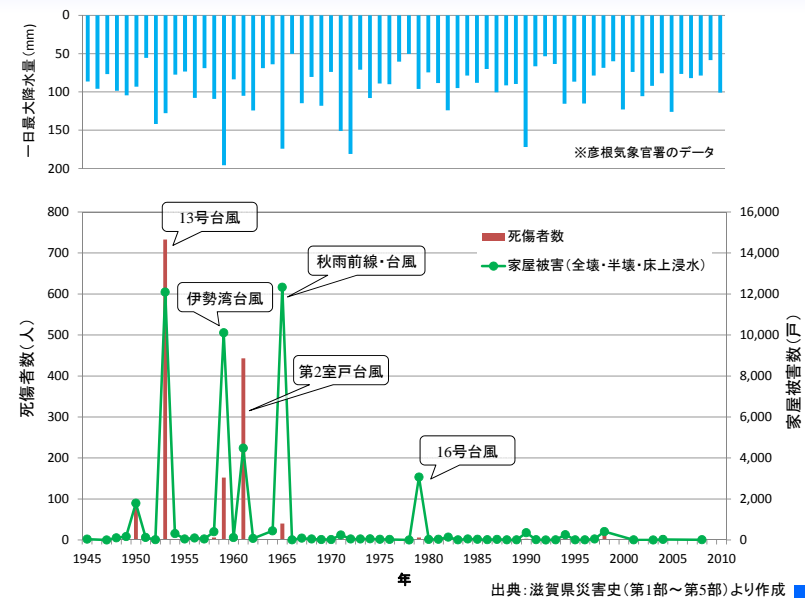
利水: 上水道、工業用水、灌漑用水、発電、レクリエーション

環境保全: 河川流量の維持

砂防: 土砂災害防止

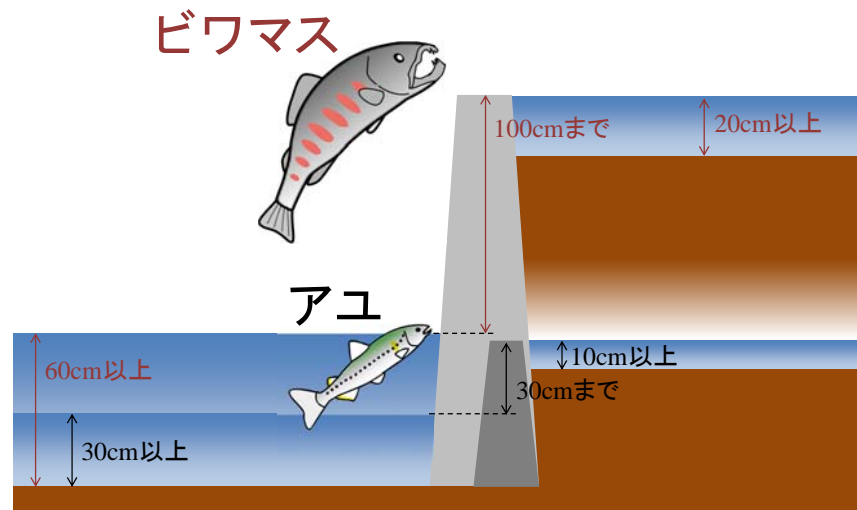
9

滋賀県内における水害の経年変化



10

魚が遡上できる堰の高さ



出典: 滋賀県水産課資料より作成

11

河川構造物の魚道、落差



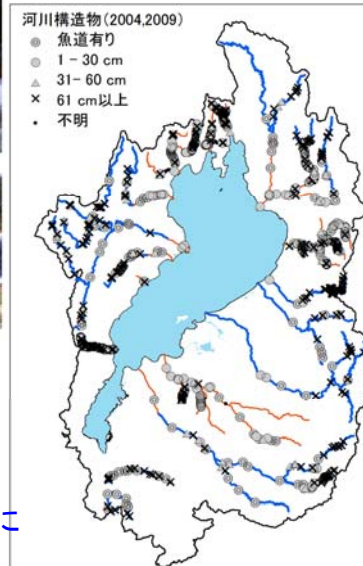
魚道なし

70%

落差61cm以上

中・上流部を中心に

36%



魚道あり

18%

出典: 水産課資料より琵琶湖環境科学研究センター東専門研究員作成

12

瀬切れの様子

高時川頭首工



下流部(新福橋地点)

出典: H24.6.1 滋賀県流域政策局 辻氏撮影

13

アユ班で話し合う内容(論点)

洪水の制御(治水)や水利用(利水)と、
魚たちの生息環境の保全を両立する方法はないの？

議論する内容の例:

■ なぜ分断されてしまったの？

- ダムや堰ってそもそもどんな役割をしているの？
- 魚たちはダムや堰などによりどんな影響を受けるの？
- 瀬切れはなぜ起こるの？

■ 分断をなくすことは難しいの？

- ダムや堰に魚道をつけることは難しいの？
- 魚道をつけるにはいくらくらいかかるの？
- 魚のために水を流すことは難しいの？

14

フナ班



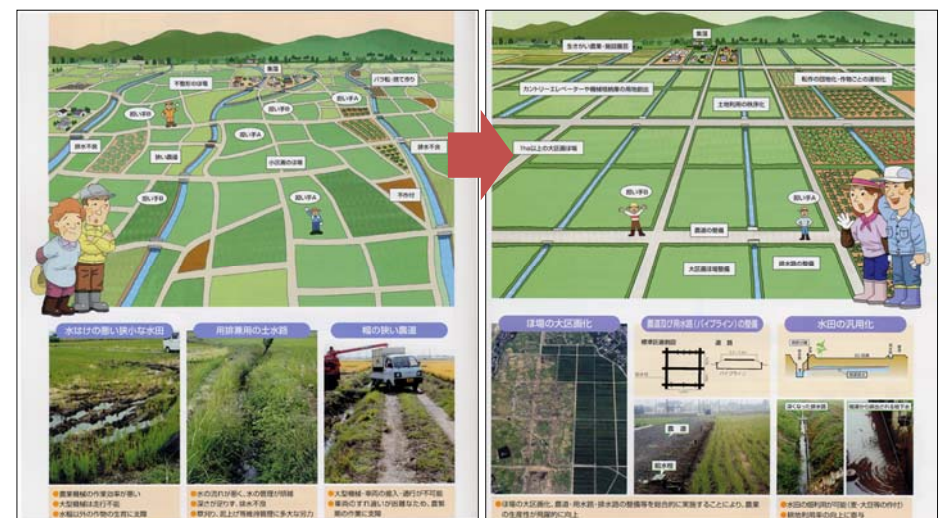
フナ班

水田・内湖～琵琶湖との
つながり

話し合う内容と
基礎情報

15

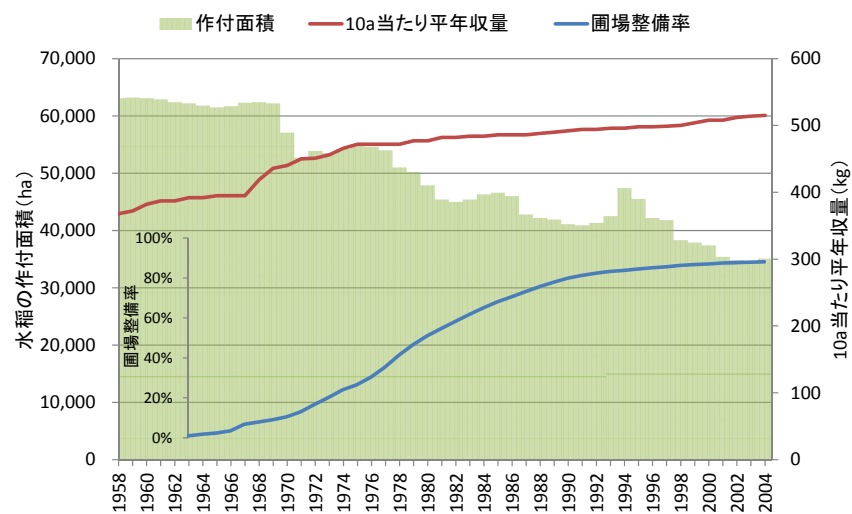
圃場整備とは？



出典: 滋賀県資料

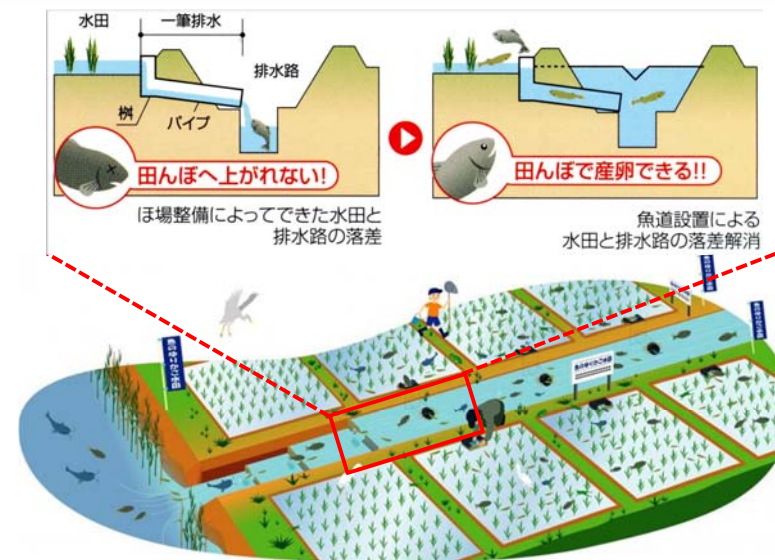
16

滋賀県における水稻の作付面積・平年収量・圃場整備率



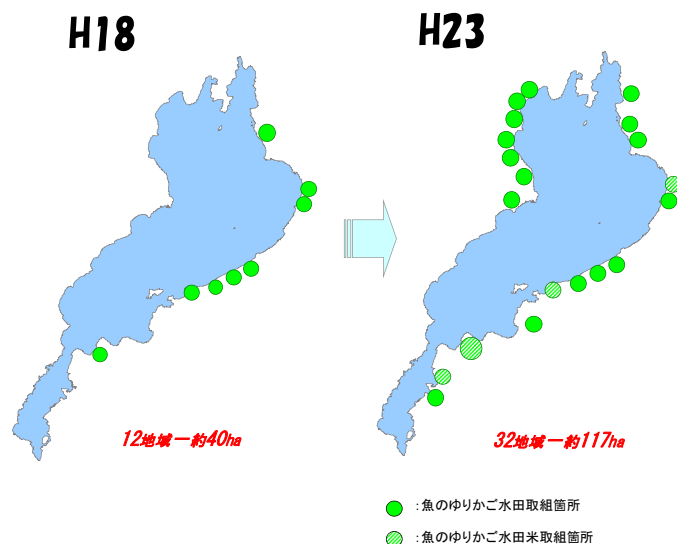
17

魚のゆりかご水田プロジェクト



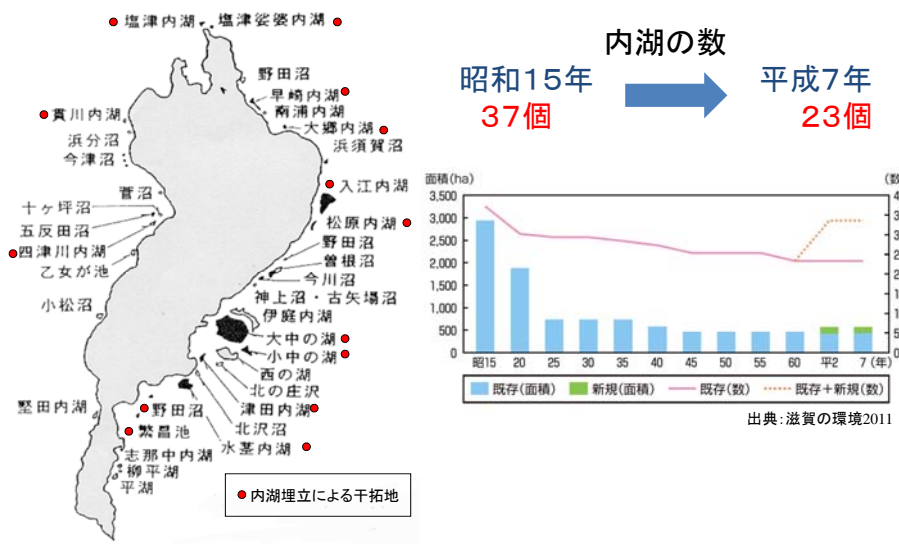
18

魚のゆりかご水田プロジェクト取組地域



19

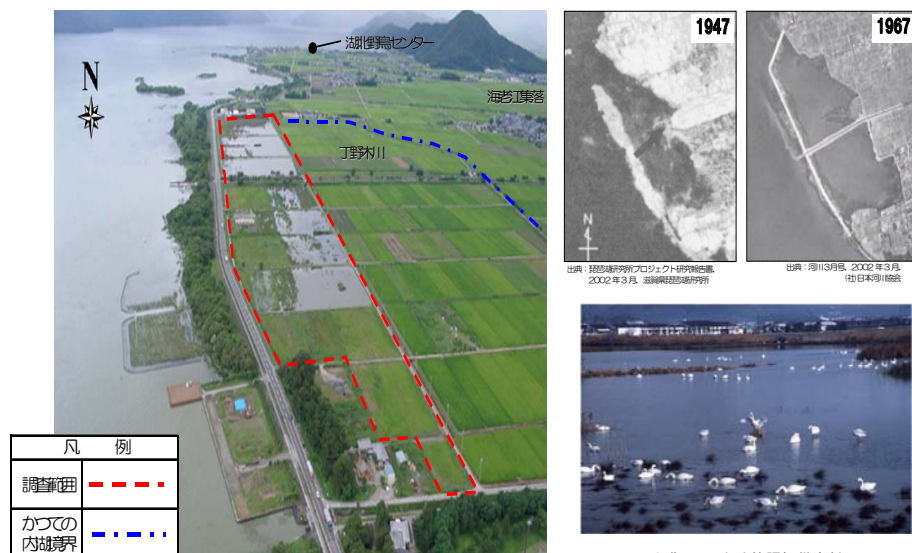
残存・消失内湖



出典: 滋賀県琵琶湖研究所(1985)

20

早崎内湖の再生事業



出典：琵琶湖政策課提供資料

21

フナ班で話し合う内容(論点)

魚たちに配慮した湖辺域の利用のあり方は？

議論する内容の例：

- なぜ魚たちは水田や内湖に上れなくなったの？
 - 魚たちにとって水田や内湖はどれくらい重要なもの？
 - なぜ内湖の埋め立てや圃場整備が行われたの？
 - 圃場整備するとどうして魚は上れないの？
- 魚のゆりかご水田や内湖再生はもっと進められないの？
 - 魚のゆりかご水田をさらに広げられないの？
 - 既存内湖の機能改善ってどんなことをするの？
 - 消失内湖の再生はどうして難しいの？

22

メダカ班



メダカ班

山・里・湖のつながりを取り戻す交流・学習

話し合う内容と基礎情報

23

魚のゆりかご水田 観察会



24

再生内湖における生きもの観察会



出典：琵琶湖政策課提供資料

25

メダカ班で話し合う内容（論点）

山・里・湖のつながりの大切さを
どう学び、理解し、伝えるのか？

議論する内容の例：

- 堰や圃場整備などにより魚の移動が分断されていることは、どれくらい認識されているの？
- 一方で洪水や渇水が少なくなったり、農業の生産性が上がったことなどのメリットは、どれくらい認識されているの？
- メリットとデメリットの両方を伝えることは難しいの？
- 地域、学校、企業がすることって何だろう？

26

各班のファシリテーターとパネリスト

① アユ班

ファシリテーター：

佐々木和之（水色舎）

サブファシリテーター：

川端隆弘（淡海環境保全財団）

パネリスト：

辻光浩（流域治水政策室）

中尾博行（琵琶湖の会運営委員）

寺川庄蔵（びわ湖自然環境ネット）

② フナ班

ファシリテーター：

佐藤祐一（琵琶湖センター）

サブファシリテーター：

山口美知子（地方自治研）

パネリスト：

三和伸彦（琵琶湖政策課）

菅原芳明（農村振興課）

前畑政善（神戸学院大）

中村清作（滋賀県漁連青年会）

③ メダカ班

ファシリテーター：

平山奈央子（金沢大）

サブファシリテーター：

関慎介（琵琶湖政策課）

パネリスト：

井手慎司（滋賀県立大）

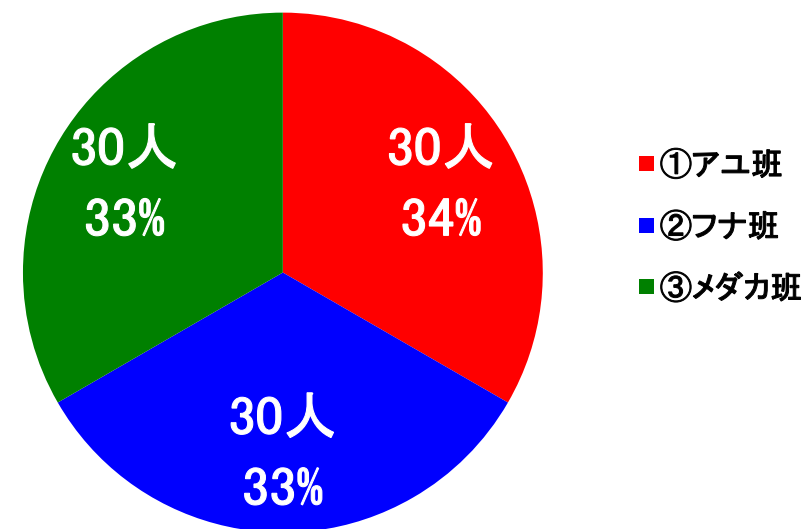
中村大輔（フローティングスクール）

中野隆弘（エコアイデア倶楽部）

宮城成和（草津市）

27

班分けアンケート



28